

笑顔のために

富士宮市議会9月定例会
年4回発行

令和2年12月1日発行
議会だより
No.419

暴力団追放に関する決議
「暴力団のいない 明るく住みよい富士宮市」
2020年9月14日 富士宮市議会



やめよう！ コロナ差別
～人に攻撃はダメ、ウィルスと闘おう～
富士宮市 富士宮市議会



議案番号	件名	議決結果
報 第 20 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報 第 21 号	富士宮市土地開発公社の令和元年度事業決算の報告について	//
報 第 22 号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和元年度事業決算の報告について	//
報 第 23 号	令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//
報 第 24 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
認 第 1 号	令和元年度富士宮市歳入歳出決算認定について	認 定
認 第 2 号	令和元年度富士宮市水道事業決算認定について	//
認 第 3 号	令和元年度富士宮市病院事業決算認定について	//
議 第 63 号	令和元年度富士宮市水道事業剰余金の処分について	原案可決全会一致
議 第 64 号	富士宮市役所庁舎長寿命化工事（高層棟工区）請負契約の締結について	//
議 第 65 号	富士宮市民体育館長寿命化工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議 第 66 号	市道路線の廃止について	//
議 第 67 号	市道路線の認定について	//
議 第 68 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第6号）	//
議 第 69 号	令和2年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議 第 70 号	令和2年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議 第 71 号	令和2年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	//
議 第 72 号	令和2年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第2号）	//
議 第 73 号	令和2年度富士宮市病院事業会計補正予算（第2号）	//
議 第 74 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第7号）	//
議 請 第 1 号	「夫婦の離婚または別居後において、全ての子どもの最善の利益を守るため、離婚後共同親権制度の採用及び共同養育・面会交流支援等に必要な法整備を求める意見書」の採択に関する請願	採 択
諮 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
議 選 第 3 号	岳南排水路管理組合議会議員の選挙について	決 定
議 決 第 4 号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決全会一致
議 決 第 5 号	暴力団追放に関する決議	//
議 決 第 6 号	離婚後共同親権制度の採用及び共同養育・面会交流支援等に必要な法整備を求める意見書の提出について	原案可決※1
議 決 第 7 号	大規模災害に対する備えの充実を求める意見書の提出について	原案可決全会一致
議 決 第 8 号	新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議	//

※報＝市からの報告、認＝決算の認定、議＝条例・予算・契約などの議案、議請＝請願、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、議選＝議会で行う選挙や人事案件、議決＝議会からの議案の略称（番号は2月定例会からの通し番号です）。

※詳しくは、市議会事務局（電話 22 - 1191）までお問い合わせください。

※1…議決第6号については、日本共産党議員団所属議員（2人）が離席。その他の議員全員一致により原案可決。



議員の視点

【議第 74 号】 令和 2 年度富士宮市一般会計補正予算（第 7 号）

9月議会最終日に追加された補正予算（第7号）の中に、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、観光振興事業 1720万円が計上されました。この内容は、大きく以下の2点です。

- ①市内8社の旅行事業者の市民向け旅行商品に対する補助金
- ②富士山の山小屋事業を令和3年度にスムーズに繋げるための支援事業

1点目の市民向け旅行商品は、1日コースは即日完売するほどの人気でした。昨今、近隣で身近に楽しめるミニマムツーリズム（近隣旅行）が注目されています。旅行と言えば、海外や遠くに行くことが主流でしたが、富士宮市に時間とお金をかけて来られる方も多数いらっしゃいます。市内にはまだまだ知られていない魅力的な観光資源があります。ウィズコロナの新たな旅行をこの機会に考えてみていいのではないのでしょうか。

2点目の富士山山小屋は、宿泊や観光施設としてだけでなく、安心して富士登山ができる拠点として重要な施設です。令和3年の登山シーズンは、ウィズコロナの新しい富士登山のあり方を模索していかなくてはなりません。一方で、富士山を保全するという観点と関心を、コロナ禍を機会に考え直していくことも必要です。

今後、国や県の動向を注視しつつ、市民ニーズを的確かつスピーディーに捉えながら新型コロナウイルス感染症への対応や支援に向けて取組を進めていきます。



▲富士山山小屋の写真

【議決第 7 号】 大規模災害に対する備えの充実を求める意見書の提出について

近年、熊本、大阪北部、北海道などで大規模地震が起きていることに加え、平成30年7月豪雨、令和元年の台風及び令和2年の豪雨では、国内各地で激甚な風水害が次々に発生し、多数の土砂災害や河川堤防決壊等が生じ、多くの尊い犠牲、貴重な財産が失われました。被災地では復旧復興作業が進められていますが、被災の爪痕は未だに残っている状況にあります。

現在国では、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、2018年度から2020年度まで集中的に対策が行われています。

具体的な対策としては、

- ①防災のための重要インフラ整備として「地震・津波等、土砂災害・浸水による被害の防止」等として3兆5千億円
- ②経済と生活を支える重要インフラの整備として「エネルギー供給の確保」「食料供給等の確保」「交通ネットワークの確保」「情報通信機能サービスの確保」として3兆5千億円

合計7兆円規模で実施されています。

緊急対策終了後、そして近年災害が増加傾向にあることから、2021年度以降中長期的な計画、令和3年度の予算措置を求め、地方に対する財政措置さらには人材育成等の体制の維持充実を図ることを要望したものが、議決第7号として議決した当意見書であり、富士宮市議会として内閣総理大臣等に宛て提出しました。



決算審査特別委員会とは？

⇒富士宮市議会では、毎年9月議会において前年度の決算審査（市が行う事業の経営等が適正かつ効果的だったかを事後審査すること。）を行います。

今回の9月議会では、令和元年度決算内容について審議されましたが、その審議を行う組織を決算審査特別委員会と言います。決算審査特別委員会は、富士宮市議会議員全21人で構成されており、審議方法は市担当部局に質疑する方法で行われます。



決算審査特別委員会委員長の視点！



▲植松健一 決算審査特別委員長

【植松 健一 決算審査特別委員会委員長コメント】

9月28日、29日の2日間にわたり全委員出席のもと、各委員より熱心な質疑が行われました。

令和元年度決算は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前ということもあり、堅調な市政運営のもと、各種事業全般も含め良好であると高い評価を受ける形となりました。委員より賛成討論も受け、結果として全会一致で認定すべきものと決定しました。

コロナ禍で多くの課題がありますが、本決算を踏まえ、令和3年度予算に繋げていけるよう期待します。



決算に対する議員の視点！

【賛成討論】野本 貴之 議員

令和元年度の歳入は、前年度と比較して堅調でしたが消費税増税による買い控えの影響がありました。当市の財政状態は、財政規律を守り健全な財政運営であります。令和3年度はコロナ禍の影響がどの程度あるのか不透明です。市民ニーズが多種多様化する中で、市には、迅速な対応と市民の気持ちに寄り添った市政運営に邁進していただきたいと思えます。

【賛成討論】遠藤 英明 議員

歳入の大部分を占める市税は、214億円で全体に占める割合は40%と高水準を保ち、他と共に堅調な歳入を確保し、自主財源は55%と依存財源に頼りがちな地方自治財政にあって特筆すべき高い水準を示しました。また、歳出における決算統計数値及び、健全化判断比率等、総合的俯瞰的見地からの予算執行に終始し、ワイズ・スペンディング^{*}が窺えました。

^{*}…ワイズ・スペンディングとは、賢い支出のこと。

【賛成討論】渡辺 佳正 議員

小・中学校全教室へのエアコン整備事業、白糸の滝売店集約化事業、ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用に対する助成等への積極的な姿勢、及び多目的スポーツ広場等の大型箱物事業については建設ありきではない多角的検討という慎重な姿勢を評価します。

また、国の財源強化が求められる国民健康保険事業については、市民の負担増にならないような措置を求めます。



決算の詳細

※万円未満は四捨五入

	歳入 (A)	歳出 (B)	繰越明許費 繰越額+事故繰 越し繰越額(C)	実質収支額 (A-B-C)
一般会計	535億 8953 万円	507億 4614 万円	4億 2280 万円	24億 2059 万円
特別会計	298億 1922 万円	293億 9083 万円	-	4億 2839 万円
合計	834億 875 万円	801億 3697 万円	4億 2280 万円	28億 4898 万円

公営事業会計				
	区分	収入	費用	実質収支額
水道事業	*1 収益的収支	20億4121万円	16億9377万円	3億4744万円
	*2 資本的収支	3億2283万円	13億615万円	▲9億8332万円
	区分	収入	費用	実質収支額
病院事業	*1 収益的収支	93億1139万円	101億7787万円	▲8億6648万円
	*2 資本的収支	9億2182万円	11億3180万円	▲2億998万円



QRコード

令和元年度決算内容の詳細が確認できます。

※1 収益的収支…事業活動に伴って生じる収入と支出

※2 資本的収支…機器などの資産の購入・売却による収入と支出

Column



税金の使われ方について ～小学生の声を聞きました～

令和元年度、富士宮市では全ての公立小・中学校の教室に空調設備が完備されました。今回完備された空調設備について、芝富小学校の皆さんからの声が届いています。

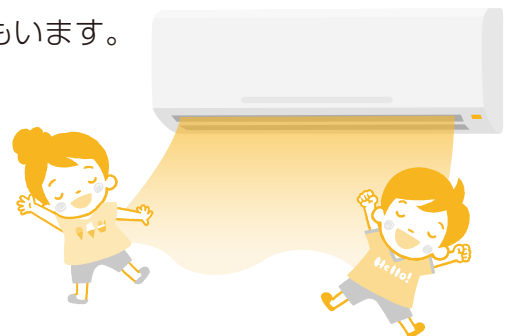
アンケート内容	回答結果
エアコンが教室に整備されて良かったですか？	はい 98.9%
	いいえ 1.1%
これまで以上に授業に集中できていますか？	はい 89.2%
	いいえ 10.8%
学校では使用上のルールが守られていますか？	はい 99.5%
	いいえ 0.5%

その他の声

- ・教室が涼しいから集中して勉強ができるようになりました。
- ・体育の授業の後、涼しくて助かりました。
- ・同じ部屋の温度でも、「涼しい」という人と、「暑い」という人もいます。

芝富小学校の皆さん(186名)、ありがとうございました。

これからの寒い季節、エアコンは暖房としても大活躍しそうですね。



日本共産党議員団（若林 志津子 議員）

小・中学校へのエアコン設置については、特別教室を含む全教室に整備されました。そのことは、あたかも新型コロナウイルス感染症で学校が休業することを予見したような対応だったと感じさせるものでした。「全国一短い夏休み」と言われましたが、エアコンを使用しての授業は快適に実施されたと考えています。

また、光回線が整備されていなかった北部地域に、ふるさと納税の財源を使い整備したことも小中学生への1人1台パソコンの配備にとって大きなメリットになりました。

まだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ですが、パソコンを使っての授業や自宅での家庭学習や登校できない時の対策など対応の幅が大きく広がっていくと期待しています。

富岳会（松永 孝男 議員）

令和元年度は緩やかな好景気の中、消費税10%への引き上げの影響も少なく、前年に比べ市税が約2億8千万円、寄附金（ふるさと納税）が約2億7千万円の増額（前年比約36.3%増。返礼品、手数料等を差引いた約4億4千万円が歳入に組み込まれた）など、一般会計歳入合計は535億8900万円になりました。

一方、一般会計歳出は507億4600万円です。翌年度繰越分の4億2200万円を除いた実質収支は24億2050万円の黒字と、健全な市政運営が確認できました。

また、主な事業としては小・中学校の全ての教室にエアコンを設置したこと、市内全域への光ファイバ網の敷設があげられます。今後はこの新しいインフラが教育の成果や、都会からの移住・定住につながるようしっかりと注視していきます。

令和（深澤 竜介 議員）

税金が有効に使われているか否かについて、特に以下の3点に注目しました。

- ①首都圏シティセールス日本在住外国人に向けた情報発信業務
…情報発信力の高い外国人をレストランに招き、本市をPRするイベントを行った。というものでありましたが、その後事業の効果（本市の魅力の情報発信）が適切になされたかどうか。
- ②観光誘客活動事業
…ラグビーW杯や東京五輪に向けた適切なスケジュールで事業を行うことができたのか。
- ③コロナ禍にあって、特に歳入での影響と令和2年度と令和3年度予算に与える影響はどうか。

公明会（齋藤 和文 議員）

令和元年度は、オリンピック・パラリンピックに向けた経済堅調、個人意識の高揚が全体的にありましたが、年度末から新型コロナウイルス感染症の影響が経済に出始めました。

決算では、歳入においては10月からの消費税10%、2～3月の新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、全体的に堅調であり市の貯金ともいえる財政調整基金は50億円を積み上げました。施策では、富士宮市・芝川町合併10周年記念事業を行い、ジブリ音楽のファミリーコンサート、幼児教育・保育の無償化、SDGs元年の取組、首都圏シティセールス、移住・定住策の推進、観光誘客事業、ご遺族手続き支援コーナーなど将来への取組が多く行われました。令和3年度予算編成では、経済の落ち込みが憂慮ゆうりょされます。市にはコロナ禍を大きな変革期と捉え臨んでいただきたいです。

蒼天（稲葉 晃司 議員）

一般会計決算歳入の市税は214億円と、平成30年度を若干上まわり歳入全体に占める割合は40%と高い水準を保つことができました。自主財源は55%と平成30年度を若干下回ったものの、依存財源に頼りがちな地方自治財政にとっては、高い水準であったと考えています。

歳出では、市民の要望に対して幅広い予算執行ができたと考えています。加えて、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率はどれも問題のない数値でありました。また、財政力指数は0.917であり、限りなく1に近づき地方交付税不交付団体をもうかがえる状況であり、この点においても財政健全化は保たれていると考えられます。

以上のことから、令和元年度一般会計決算を一言で表すと、「高い水準の自主財源を維持し、財政健全化に配慮しつつも幅広い市民の要望に対応できた決算であった。」と言えると思います。

芙蓉（野本 貴之 議員）

令和元年度は消費税増税直前の駆け込み需要と直後の消費の落ち込み、年度末のコロナ禍の拡大など乱降下の激しい年でした。

その中で、会派「芙蓉」としては決算を認定すべきとしました。特に、財政規律が守られた運営かどうか、財政調整基金の積み立てや利活用等を見ています。

また、歳出は職員採用と人件費の考え方、首都圏シティセールス事業の費用対効果、産前産後から乳幼児期の家庭児童相談や気になる子どもの把握、有害鳥獣被害防止対策事業と捕獲した鳥獣の利活用、インバウンド向け旅行商品開発支援、企業誘致・留置や支援、学校や家庭と連携し不安な気持ちに寄り添う教育、市立体育館等スポーツ施設の運営や人件費の改善等、積極的な取組を促しています。

政経会※（辻村 岳瑠 議員）

※9月定例会時の会派名で掲載しています。

市民の要望に応え、かつ税金が無駄なく使われており、その費用対効果について評価いたしました。その中でも、以下2項目に注目しました。

①光ファイバ整備事業。市内全域の整備がコロナ禍で整ったということは、今後さまざまな施策を優位に進めることになり、大いに期待できる事業でした。

②小・中学校エアコン整備事業。特別教室も含む全教室にエアコンが整備されました。「日本一短い夏休み」と言われましたが、夏の授業は、児童生徒の学習を支援できる整備が整っていたからこそできたことでありました。また、同時に年間学習過程の過密日程を防いだ点も評価しました。

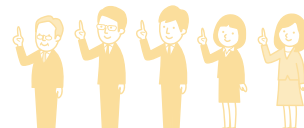
市当局はコロナ禍ではありますが、今後も市民生活向上のため自信を持って頑張っていたいただきたいです。

会派解散と結成のお知らせ

10月27日、「政経会（代表：村瀬^{しせい} 旬議員）」が解散し、新しく「至誠（代表：村瀬^{しせい} 旬議員）」が結成されました。なお、「至誠」所属議員は、村瀬^{しせい} 旬議員、鈴木弘議員、諏訪部孝敏議員、細沢覚議員、辻村岳瑠議員です。

会派「至誠」からのメッセージ

会派名の「至誠」とは、「感謝の『誠』を先人に捧げ、政治に『至』る」の意。誰ひとり取り残さない住民福祉の向上、市民の人生の幸せに貢献します。





委員会とは？

- 議会運営委員会とは、議会の運営に関すること等を協議する組織です。
- 常任委員会とは、議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織です。富士宮市議会には、担当する案件により、総務文教、環境厚生、産業都市の3つの常任委員会が組織されており、議会運営委員会も合わせて4つの委員会は全て議員のみで構成されています。

議会運営委員会

【佐野 和彦 委員長 コメント】

富士宮市議会では、独自に新型コロナウイルス感染症に係る定例会等の対応を策定しています。これは当市の感染症動向を、その時々で判断することによって、安全かつ適切に議会運営を行うためのものです。9月定例会においても、これに則り、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行った上で議会運営を行いました。

また、9月定例会では、以下のような重要な案件を審議しました。

- ・決算審査特別委員会
- ・暴力団追放に関する決議
- ・大規模災害に対する備えの充実を求める意見書の提出
- ・新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が丸となって乗り越えていくための決議 など

議会提出議案も数多くあり、全議員が賛同し富士宮市の難局を乗り越える姿勢がとても色濃く見えた議会でもありました。これからも議会運営が市民の福祉向上に繋がることに努力をし、邁進していきたいと思っております。

総務文教委員会

所管事務調査内容

- コロナ禍における学校の現状について
- 富士宮市の公共交通の確保について(政策課題)

【松永 孝男 委員長 コメント】

コロナ禍における学校の現状では、感染防止対策、学校行事、学力保証など広範囲にわたる説明を聞きました。感染防止対策としては、手洗いの徹底やマスクの着用などの基本的な対応に加え、ドアノブ、手すり、スイッチなどの消毒、また、始業式などは校内放送を使い3密を避けているとのことでした。運動会や修学旅行などの行事も、感染防止に配慮しながら9月から11月にかけて行うとのことでした。また富士宮市では小・中学校の全ての教室にエアコンが設置されたことから、猛暑の中でもほぼ予定通りに授業ができていることなどを確認しました。

公共交通の確保については、富士宮市が全国に先駆けて始めた画期的なオンデマンド型タクシー「宮タク」を、お年寄りや障がいのある方の生活の足としてより利用しやすくするために、タクシー協会との意見交換会で出された意見も参考にしながら、内房エリア及び北部エリアから乗り換えなしで中心市街地まで行けること、利用者の多い地域については増便を検討すること、スマートフォンなどによる予約可能なシステムを検討すること、などの改善を当局への提言書としてまとめています。令和3年度の予算編成に間に合わせるよう11月議会で委員長報告をします。



▲委員会開催の様子

環境厚生委員会

議請第1号

●「夫婦の離婚または別居後において、全ての子どもの最善の利益を守るため、離婚後共同親権制度の採用及び共同養育・面会交流支援等に必要な法整備を求める意見書」の採択に関する請願

所管事務調査内容

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 富士宮市内で発生している異常湧水について

【中村 憲一 委員長 コメント】

我が国では、離婚時に未成年の子どもがいる場合、いずれかの親に親権が付与される単独親権制度を採用しています。全ての子どもは適切な養育を受ける権利を有しており、共同親権制度の採用及び共同養育・面会交流等の法整備が、精神的、経済的に子どもの最善の利益を守ることにつながると考え、この請願は採択すべきものと結論付けました。

また、市立病院の事業報告については、新型コロナウイルス感染症の影響が見られますが、医師確保が進み診療体制も着々と整備され、医業収支は令和元年度より改善しています。しかし収支は依然としてマイナス圏内であり厳しい経営環境に引き続き注視が必要です。

異常湧水については、淀師地区の大堤、小堤、風呂湧調整池、旧千代養鱒場跡地、周辺住宅地の現地視察を行いました。現状は、土嚢袋の貸出で対応しているとのことですが、長雨による地下水位の上昇が原因であることから、何らかの追加支援の必要性があると感じました。



▲現地で異常湧水の説明を受ける

産業都市委員会

所管事務調査内容

- 猪之頭公園の現状と活用について
- 滞在型観光について（政策課題）

【植松 健一 委員長 コメント】

猪之頭公園の現状と活用について、富士宮市当局より今現在計画されている「キャンプ場としての活用に関する基本方針」の説明を受けました。この方針は静岡県猪之頭公園運営協議会で策定されたものですが、キャンプ場及びバーベキュー場、E-BIKEの利用などアウトドアに対応した公園としての再整備についてのものです。これは当委員会が現在取り組んでいる政策課題である、「滞在型観光について」と深く結びつくものです。滞在型の観光として朝霧地区の自然を有効に活用できるアウトドア観光を今後強力に推し進める、というかたちで課題を取りまとめることが決定しており、当委員会としても猪之頭公園が整備されることによって、朝霧地区のアウトドア観光の中心的施設になると考えています。猪之頭公園の整備も含め、朝霧地区を「アウトドアの聖地」にできるよう、今後課題を精査していきたいと考えています。



▲田貫湖畔の日月倶楽部にあるクリアドームテント



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

議員所属の会派名は、9月定例会時点のものを掲載しています。



うえまつ けんいち
植松 健一 議員
(芙蓉)

市内産科の現状について

問 令和3年3月以降、市内分娩施設が市立病院1箇所となることによってどのような影響が考えられるか。

部長 分娩取扱いを終了する民間医院は事前に市立病院と十分な協議を行っており、令和3年度以降、取り扱っていた患者さんを全て市立病院で受け入れたとしても体制に支障はないことを確認している。

問 市立病院での分娩について受入れ体制を補強する計画はあるか。

部長 市内唯一の民間分娩施設が取扱いを終了し、市内で行われている分娩約600件を市立病院で対応することになるが、過去の実績から現体制で対応可能であると考えている。

問 今後市立病院は、無痛分娩などの分娩方法導

入についての検討はあるか。

部長 当院の産婦人科が無痛分娩を行わない理由は産科麻酔科医の確保、もしくは24時間対応できる麻酔科医の確保など新たな体制整備が必要となるため、現時点でこれらに対応することは難しいため無痛分娩は実施せず、現行どおりの分娩方法で対応していく。

熱中症対策について

問 生活困窮者、母子家庭、高齢者世帯にエアコン設置等に関して補助を考えたかどうか。

部長 生活保護者のエアコンの購入は、現在の制度では、例えば熱中症の危険性があると認められる高齢者、障がいを持った方、小さなお子さんがいらっしゃる家庭などについては、保護費の中からエアコンの設置を認めるという状況になっている。また、それ以外の生活保護になる一步手前の方たちについては、エアコンの普及率や購入率などの状況は把握していないが、いろいろな機会を捉えて、そのような状況が把握できれば確認していきたい。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(令和)

県内一の人工透析実施率について

問 平成28年度調査では、富士宮市は人工透析率が県内一多かったが、その状況に変わりはないか。

部長 令和2年4月の状況でも、変わらず、富士宮市は静岡県内で一番多い率である。糖尿病・高血圧・肥満の方の割合が多い。

市長 富士宮には酒蔵が4蔵あり、漬物もうまい。酒の席が好きな方も多い。広報ふじのみや等で健康について呼び掛けていきたい。

意見 健康問題は、単発的な政策を行ってもすぐに効果が出るものではない。粘り強い努力を各部署にお願いする。

一般廃棄物処理基本計画（ゴミ処理・生活排水処理）について

問 ごみ減量化が、計画通りに進まないが、県内

23市のうち10市がごみ袋料金に上乘せという形で、有料化を行っているが、今後の方向性はいかがか。

部長 これから行う市民アンケート（2500人無作為抽出）を参考に、区長会等の意見や近隣市の動向を確認しながら検討していきたい。

問 「星山エネルギー拠点化プロジェクト」等の地域循環共生圏で提案されている事業の扱いはどうなるのか。

部長 現在のところ、実証段階以前の提案レベルのものであると考えている。

判子手続の廃止について

問 富士宮市で押印を要する手続は何種類あって、廃止できるものはいくつあるのか。また、廃止はいつからはじめるのか。

部長 平成5年に見直しした結果、149種類は押印廃止し、現在512種類残っている。法定受託事務の関係もあり、市単独では判断が難しいものもある。今後は国のガイドラインを参考に適時廃止を進めたい。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
 (政経会)

通学路の安全対策について

問 子どもたちの登下校の安全確保を前提に、横断歩道や道路標識の整備及び通学路周辺の放置された空き家や空き地の管理など安全対策について伺う。

部長 市内の小・中学校の通学路における空き家について調査を行ったところ 20 件の空き家を確認している。そのうち危険性のある 3 件については適正管理を依頼している。

問 通学路の安全点検について具体的に伺う。

部長 教職員が通学路を実際に歩いて危険箇所がないか点検をしている。

森林管理及びナラ枯れ対策について

問 市内のナラ枯れ被害の状況はどうなっているのか、ナラ枯れ対策として市の考えを伺う。

部長 令和 2 年 7 月から市有林の監視や市民の方

からの相談を通じて把握しており、市内のほぼ全域で確認されている。また、静岡県内の発生範囲は、県東部の小山町から当市にかかる富士山南麓と伊豆の一部、志太榛原地区での発生が確認されている。これらの地域は静岡県の森の力再生事業の対象となるので、この事業を活用するなどして森林の若返りや山の機能回復を図り、森林整備を進めていく。

新型コロナウイルス感染症に伴う継続的な対応と対策について

問 感染者等への誹謗中傷に対するケアについて市の考えを伺う。

部長 感染者等に対する誹謗中傷や嫌がらせが社会問題化している。実際に、誹謗中傷等に関する相談があった場合には、市民生活課くらしの相談係が窓口となり、相談者に寄り添い、個別具体的な事情に応じ、支援が可能な関連機関への取次ぎなどを行う。さらに、市長自らが同報無線により市民に人権啓発を訴えるとともに、市のホームページに啓発記事を掲載する。



さいとう かずふみ
齋藤 和文 議員
 (公明会)

富士宮市における防災と感染症対策について

問 令和 2 年 9 月に行われた家庭での防災訓練はどうだったのか。

部長 今年度は自主防災会の集団訓練ができないことから、自分や家族の命は自分たちで守る「自助」について振り返る良い機会と捉え、各家庭では災害時の避難等について話し合い、70%を超える児童生徒が参加した。

問 避難所の定員制を考え、教室等を開放することを検討すべきでは。

部長 どの避難所も体育館が第 1 優先避難場所であり、学校の構造等によるが、第 2 にホールなどを、災害弱者用に保健室・武道場などを、炊き出しに調理室を定めている。教室は、感染症対策として通常授業に影響が出ない範囲で、空き教室などを発熱者スペースとして開放予定。

問 新型コロナ接触確認アプリ COCOA を市職員が積極的に導入することについて。

部長 市職員の導入率は 9 月末時点で 83%であり、今後も周知活用を依頼する。市民への周知については、折り込み広告や広報への掲載、更なる普及啓発に向けて医療福祉関係団体などにチラシ掲示等を依頼している。

バリアフリー対策について

問 市役所内点字ブロックの設置スケジュールについて。

市長 当初令和 4 年度設置予定ではあったが、前倒して 3 年度中に設置を完成させたい思いである。

SDGs の推進について

問 RE100 (事業運営に必要なエネルギーを 100%再生可能エネルギーで賄うこと) を導入することについて。

市長 市として積極的に再生可能エネルギーの情報収集、導入の取組を推し進め、再エネ由来電力の調達方法など調査研究を進めていく。



こまつ かいぞう
小松 快造 議員
(富岳会)

残土不適正処理問題について

問 この夏、北部地区において残土不適正処理(不法投棄)が確認されたが、市はどの程度把握し、業者への指導、対策はどのように考えているのか。また、条例での強制力はどの程度あるのか。警察との協議はされているのか。

部長 令和2年8月7日地元当該地区から、多くの土砂が運び込まれているとの通報があり現地調査を行った結果、この土地については本件とは別の業者に許可を出した場所であり、今回行為はまた別の業者であると発覚。直ちに中止命令及び安全面に対する指導を行い、搬入した盛土を撤去する内容を含む是正計画書を8月12日に提出させ監視体制の強化を図っている。今後の対策は安全面の問題であるため、再度事業者の説明を求める。条例上、罰則を伴った強制力のある規定となっ

ている。申請、許可なく行為を行った場合は聴取後、直ちに中止命令を発し、場合によっては原状復帰命令を行う。警察とは情報共有しつつ、周辺への影響がある場合は警察へ協力要請をした。

副市長 近隣自治体の実情などから、現状は条例に基づき粛々と対応していく。森林法などの法令をすり抜け、伐採後にまた違法行為を行うなど悪循環となっている。森林法所管関係部署等と連携し、県をあげて体制作りが必要だと思う。

「ウイズコロナ」学校教育の在り方について

問 ウイズコロナの学校づくりを急ぐ必要があるがどのように考えるか。

教育長 文部科学省作成の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」を周知している。マニュアルに基づき、実態に応じ、各教科の指導や給食、登下校の方法等を工夫し対応。感染症対策としては、感染源・感染経路を絶つ、抵抗力を高める等、基本的対策の継続徹底。



えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(蒼天)

統一的な基準による地方公会計、富士宮市財務書類、財務諸表4表による指標分析について

問 市民1人当たりの資産・負債は適正な価格を維持しているか伺う。

部長 市民1人当たり資産は約160万円、負債は約29万円、他市と比べても平均的で、適正な数値を維持していると言える。

問 将来世代負担比率は現世代に比べ過負担となっていないか。

部長 公債費の増大抑制、地方債計画、交付税措置等に配慮、他市と比較しても平均値を下回っている、健全な財政運営を維持している。

問 プライマリー・バランス(基礎的財政収支)は近隣都市と比較してどうか。

部長 各年度における金額変動が大きいことから他市との比較は困難。本市は業務活動収支がプラ

ス(黒字)となっている。

問 行政コスト計算書における現金収支を伴わないコストの取組について。

部長 現金主義では見えにくい減価償却費、退職手当引当金等、当初予算の基礎資料として、事業採択や予算の配分の妥当性や整合性を確認している。

第1次富士宮市行政経営プラン、令和元年度実施報告書について

問 福祉、保健、教育、病院等各分野で会計年度任用職員(臨時職員)の増員が見込まれるが正規職員との適正管理が求められるがいかがか。

部長 新たに増加する事務事業について正規職員で対応すべきものと、会計年度任用職員で対応可能なものに整理し、総合的に勘案したうえで人員数を配置し、適正に管理ができている。

問 自主財源の確保として、ふるさと納税の令和元年度の実績と今後の戦略について伺う。

部長 実績は約10億円。戦略はリピーターの確保、魅力的な返礼品、情報発信、使途の明確化。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

富士宮市感染症対策

問 感染された方へのアフターフォローは。

部長 市民が陽性者となった場合、それ以降の対応は保健所の措置で行われることから、個人の特定はできない。具体的な困り事があれば、しかるべき窓口で対応する。

問 軽症者と重症者の判断基準はあるのか。

病院長 重症度の区分は、重症、中等症、軽症、無症の4区分となり、軽症は酸素投与が不要、発熱や咳がある患者、無症状でも65才以上の方や基礎疾患がある方は軽症者対応になる。重症は人工呼吸器管理以上の患者となる。

問 指定感染症の二類から五類に下がった時の対応はどうなるか。

部長 現在、見直しが叫ばれているが最終的にどうなるか分からない。最新の情報に注視し適切に

対応していく。

問 当市の集団免疫の考え方について伺う。

市長 スウェーデンなどの北欧諸国は、自然免疫の施策で失敗している。そうならないように取り組む。

問 ここは諸外国ではなく日本であり、医学の見地からも説明できるのではないかと思うが。

病院長 集団免疫という考え方はあるし、ある意味正しい方法だと思うが、県内ではある程度感染がコントロールされている状況だと思う。

市街化区域と市街化調整区域のセットバックの違いについて

問 市街化調整区域にも、狭あい道路拡幅整備事業の補助対象を広げることができないか。

部長 安全な住宅市街地の形成、災害に強い街づくりのため、道路拡張整備事業は、市街化区域を集中してやっていく。

問 調整区域にも目を向けてもらえないか。

部長 個別の案件は、道路事業でできるかどうか議論していきたいので、相談してほしい。



こんどう ちづる
近藤 千鶴 議員
(令和)

富士川、芝川など1級河川の河川環境について

問 富士川の濁り、濁水、汚泥の原因は。

部長 濁りは豪雨による崩壊土砂流出。濁水は管理者が適正管理しているが、気象条件の影響。

問 日本軽金属の巨大水利権と導水管について。

部長 水利権は国土交通大臣が許可権者。導水管は民間事業者の施設。日本軽金属には地域住民から信頼してもらえよう管理してほしい。

問 静岡県や山梨県に対しての働き掛けは。

部長 県をまたぐ河川のため情報共有は必要。

問 市長から、県知事や早川町に行政の垣根を越えた河川に関する協力をお願いできないか。

市長 市も黙って見てられない。これから国や県等にも働き掛けをしていきたい。

問 芝川の水が流れていない場所について。

部長 季節、水量により堰堤から越流をしていな

い箇所があるのは承知しているが、国の水利使用許可に基づき、事業者が運用管理している。

問 利水者と漁協組合と行政、市民団体など話し合う場を作ることができないか。

部長 市主導による場の提供は考えていない。

意見 1級河川は国・県の管轄、また普通河川は市の管轄などという縦割り行政が、この河川環境の問題解決を遅らせている。

山口組2次団体の富士宮進出について

問 その現状、市民の動き、市としての対応は。

部長 議員の暴力団追放の決議に深く敬意を表する。暴力団の目立った動きは見られない。周辺住民からの相談、要望は受けていない。警察等による戸別訪問聞き取りでは、不安や恐怖を感じるという声が多かった。市の対応として警察、県暴力団追放運動推進センター、県弁護士会などの関係機関と連携を密にしながら市民が安心して暮らせるまちづくりに邁進していく。

意見 暴力団排除条例の理念にのっとり、みんなで心をつなげて、頑張っ闘いましょう。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

新型コロナウイルス感染症発生施設への人員確保案と検体採取案について

問 医療・介護コロナ救援チームを結成し、人員不足に陥った施設を援助する必要性は。

部長 県が進める応援職員の登録体制の動向も注視しながら、富士宮市介護保険事業者連絡会などの関係団体と一緒に検討していく。

問 感染症発生施設で検体採取できる体制づくりの必要性は。

部長 施設で検体を採取し、速やかに検査の結果が分かるような体制があれば、そこで働く職員や高齢者などの施設利用者の方の負担を軽減するメリットはある。しかし、鼻の奥まで検体採取の綿棒を入れる必要があることから、くしゃみにより医療従事者の感染リスクが高まる課題がある。医療従事者の安全性を確保した上で医師の協力を

得ることが大きな課題であると考えている。

問 施設医、現場の看護師の判断で検体採取を行うという仕組みづくりはどうか。

部長 専属の医師、あるいは看護師がいる所は限られている。市の姿勢としては、市内全域すべての事業所に対応ができる、そういった制度を考えているところ。

新型コロナウイルス感染症における差別偏見から市民を守る同報無線について

問 新たな感染恐怖、差別、偏見から市民を守る同報無線の必要性は。

部長 市長自ら同報無線により放送している。

意見 放送の内容は市民を何としても守りたいという市長の思いであると思う。しかし、感染症で既に傷つけられている方からすると、どうしても聞きにくさがある。市民の感情に鑑み、同報無線の市長の言葉の前の「メッセージ」という表現を「お願い」という、より市民に聞きやすい表現にすることの検討をお願いしたい。



なかむら けんいち
中村 憲一 議員
(令和)

コア・エグゼクティブ論^{※1}とプーリング型総合調整^{※2}から考える部門越境的行政課題解決

問 水道部と環境部に横断する課題である下水汚泥の有効利用はどのように取り組むのか。

部長 環境部を含めた他部と緊密な連携を図り、各地の燃料化、発電等の実証実験を参考にしながら、行政コストの縮減や環境に配慮した活用方法について調査、研究を進める。地域循環共生圏推進協議会において、下水汚泥の有効利用に関して2つのプロジェクトが提案されているが、民間主導の実証段階以前の提案レベルのものであると認識している。

問 産業振興部と環境部に横断する課題である農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律に基づく基本計画はどのように取り組むか。

部長 基本計画作成において、家畜ふん尿が産廃に該当するので廃掃法、プラント内で発生する消化液の排水処理施設を設置するので水質汚濁防止法について県との協議で環境部と連携。事業者に対し設備整備計画の提示を求めているが、再度収支計算をしたところ採算が合わないため、基本計画の修正を含めた新たな事業提案が示された。実現可能性は非常に難しい状況。

問 全部門に横断する行政のデジタルトランスフォーメーション^{※3}についてどう取り組むか。

部長 全体を統括する部署の設置が必要不可欠であり、令和3年度に情報化計画を所管する現企画部電算統計課をデジタル推進課に改称する予定。同時に行政経営、総合調整の必要性の観点から、行政事務のデジタル化の推進を専門に担当する職員を総務部行政課へ配置する。

ポストコロナ、アフターコロナ、ウィズコロナ時代の敬老会、成人式の在り方について

問 コロナを機に運営方法を見直すべきでは。

部長 敬老会、成人式共に現状維持とする。

※1…中核的執政

※2…各部署資源を集中し調整すること。

※3…デジタル化による変革のこと。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男 議員
(富岳会)

GIGA スクール構想について

問 不登校生徒などへの利用について伺う。

教育長 支援に ICT 機器を活用していくことは、担任や友人とコミュニケーションが取れるため、有効な支援の一つだが、オンライン授業による出席扱いについては、現時点での形態では、認めることが難しい状況である。

問 無線 LAN などの設備がない家庭に対しての考えについて伺う。

部長 Wi-Fi 機器を市で購入し無償で貸し出し、通信費用については各家庭で負担いただくことになる。近くの親戚などでインターネット通信回線をお借りすることや、学校の一部を開放して使用することも検討している。

防災や市民サービスの向上の観点から ICT 環境に対する富士宮市の考えについて



すずき ひろむ
鈴木 弘 議員
(政経会)

デジタル変革による住みやすく持続可能なまちづくり～デジタルトランスフォーメーションを目指して～

問 デジタル変革について総合的にどう取り組んでいくのか伺う。

部長 令和3年度は第6次富士宮市情報計画を策定する。この策定作業において、デジタル変革について研究、議論を深め、富士宮市としての方向性を見いだしていきたい。

問 行政経営的な観点からはどうか。

部長 市民サービスの向上の点では行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の推進などが代表的と考えられる。行政内部の点では AI(人工知能)や RPA※1 を活用した業務の効率化、電子決済やウェブ会議の導入などがある。しかし投資的経費や維持費が大きいと想定されるため国の動向など注視しつつ推進していく。

問 学校体育館などが避難所になっていることから、学校と市役所とで同様のシステムを使うことを提案するが、いかがか。

部長 学校では、児童生徒が1人1台端末を体育館での学習活動で活用することを想定し、学校体育館にも Wi-Fi 環境を整える予定。いざというときに市民が情報を得るためのオンライン環境を整えておくことも重要と捉えているため、非常時にはフリー Wi-Fi 環境に切り替え、避難者が各自の端末につなぐこともできるよう整備する予定である。基本的には児童生徒が学習に活用することを想定しているが、避難所の運営で必要な場合には、柔軟に対応していきたいと考えている。

問 ICT 専門官を置くことはいかがか。

部長 本市においては ICT 専門官を配置することは考えていない。事務事業を全体から見渡し、検証していかなければならない事案だと考えており、民間事業者への委託など、総合的な対応を行うことができる方法を検討している。

問 デジタル変革は地方分散型社会を招くと予測され、チャンス到来といえる。市はデジタルマーケティングを行いアピールしているがそれ以上のことが望まれる。どう考えるか伺う。

部長 SNS を活用し、本市の魅力若者世代や子育て世代に向けて発信し、関係人口の創出を図り、LINE 登録による富士宮市のファンを増やしていく取組を始めたい。さらに、テレワークやワーケーションの推進、サテライトオフィスの誘致などを実現していくため調査業務に取り組む。

道路上の枯れ木処理

問 ナラ枯れが進行し道路の脇で枯れているものもある。どう処理されるのか伺う。

部長 樹木は財産として扱われるので、所有者に対し除去や切除の依頼をしている。

問 所有者が切れないと言った場合、市で切らせてもらえないのか。

部長 粘り強く土地所有者にお願いしていく。

※ 1…ロボティック・プロセス・オートメーションの略。定型事務等を自動処理すること。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

地下水保全と家畜ふん尿処理について

問 市内の家畜全体（牛、豚、鶏）のふん尿を分解するのに必要な酸素の量（BOD）を人のし尿に換算すると、約 220 万人分のし尿に相当する。このうち、乳牛 2 千頭分（人のし尿換算で 12 万人分）の余剰ふん尿を処理するというバイオマス発電構想は、技術的にもコスト的にも実現が難しいと考える。方針転換して、市と農家の連携による共同堆肥処理・流通センターの建設運営を考えるべきではないか。

部長 確かに、バイオマス発電の実現は難しいが、民間事業者が断念したわけではないので、市として結論を出す段階ではない。仮に、バイオマス発電構想が頓挫したら、乳牛 2 千頭規模の共同堆肥センターの建設が喫緊の課題だと認識している。

問 畜産酪農が盛んな北海道・九州では、市と農

家が連携して、市の予算も投じて建設運営に取り組んでいる。富士宮市でも同様の取組ができないか。

部長 畜産酪農の割合が大きい北海道・九州では、税金投入に市民の合意形成が図りやすい。富士宮では、市全体の産業を考えたときに、市民全体の合意が得られるかが疑問。

意見 湧玉池や芝川の水質問題と家畜ふん尿の問題は切り離せないのだから、水を守るという観点から、税金投入について市民の合意を得ていくステップが大事。

問 共同堆肥センターの実現性や財源等について議論できる組織の立上げが必要ではないか。

部長 分かりやすい形で進めていきたい。



▲富士山麓の放牧風景



▲湧水群がある猪之頭の陣馬の滝



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

児童生徒へのパソコン配備で授業はどう変わるか。教員の研修や ICT 支援員の配置は。

問 令和 3 年 1 月に全児童生徒へパソコンが配備されるが、オンライン授業などの内容、パソコン以外の周辺機器導入は。教員の意見や要望、ICT 支援員の配置はどう考えるのか。

教育長 授業内容は、一斉提示機能や比較機能を使い、意見交換や話し合いを進めるためのツールとして活用。さらに研修を進める。

部長 周辺機器は、現在ある物で対応。教員からはパソコンの台数が増え、使いたい時に使える、家庭で使用できるようになればオンライン学習の幅が広がる一方、遠隔オンライン、プログラミング教育等への不安の声がある。サポートとして、相談できる体制を今後検討し、令和 3 年 1 月当初 ICT 支援員は配置しない。

要望 周辺機器は教員からの要望があれば導入を。教員の不安解消のために講習会、講演会の開催を。ICT 支援員は 1 人でも配置を。

LGBT の人たちが暮らしやすい環境づくりを

問 全国 20 ～ 59 歳の約 6 万人を対象にしたアンケートでは、約 10% の方が LGBT に該当するとの結果が出ている。この結果から、LGBT について知らないではなく、誰もが理解する姿勢が求められている。令和 2 年 4 月 1 日、全国で 13 の自治体がパートナーシップ証明制度を始めたが、当市でも先駆的にパートナーシップ条例を制定すべき。

部長 市民生活展のパネル展や、広報ふじのみや創宮での特集記事掲載、職員向け研修などを行い、周知が図られた。県市長会定例会では県内統一のパートナーシップ制度創設等の提案をしており、県の動向を注視する。

要望 条例制定に向けて市からも意見をあげてほしい。





※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの
佐野 あつし
孜 議員
(富岳会)

朝霧高原への来訪者と自然環境保持の対策

問 ①キャンプ場経営と来訪者のマナー徹底。

②来訪者が滞在中に活動できる内容の作成。

③キャンプ場や付随する商業施設の起業方法。

部長 ①旅行連絡会の作成した感染症対策に取り組み、市が関わる場所ではチラシを配布。

②アクティビティー豊かな体験やバーベキュー等を組み合わせた滞在型観光をHPで紹介。また、ふるさと納税の返礼品として体験を用意。

③産業競争力強化法に基づき、関係機関と連携し、創業相談窓口や創業支援セミナーを実施。相談窓口は、市の商工振興課である。

市長 スポーツレクリエーション観光都市として北部地域を盛り上げ、リピーターを増やす。

第5次総合計画の基本構想への政策の追加

問 官民一体での家畜ふん尿の処理対策は。また、

林業・畜産・工業の連携でできた堆肥で、農業生産から各家庭の食卓への循環政策は。

部長 畜産ふん尿の適正処理と堆肥化の促進は共同堆肥舎設置の検討が始まっている。林業・畜産・工業の連携はないが、各農家からの堆肥と安全安心な農作物について総合計画に記載済み。

市長 全体5千頭分の内2千頭分のふん尿が未処理。この部分は民間企業の努力を待っている。

防疫対策と学力向上に全力投入の教育現場

問 ①一斉学力調査、運動会、修学旅行等各学校行事への運営方針における助言は。 ②学校訪問における指導案の取扱いは。 ③SNSで「先生死ぬかも」に関する富士宮市の現状は。

教育長 ①一斉学力調査は県校長会が実施し生徒が自らの学力を把握し、今後にいかすことが目的。運動会等は規模を縮小し、実施の方針。 ②教育委員会の訪問は行わないため指導案は作成しない。教育事務所の訪問の際はその指示に従う。

③教職員の多忙化の現状と捉え、支援員等を効果的に配置し、消毒、学習を支援。



まつなが たかお
松永 孝男 議員
(富岳会)

公共工事の価格について

問 予定価格の算出方法は。

部長 建設工事における予定価格は土木工事標準積算基準書などに準じて積算している。

問 入札価格の妥当性の検証方法は。

部長 工事価格は国や静岡県が定めた積算基準書、労務単価や資材単価などを用いて積算し、工事検査員による設計書内容の選定審査を行い過大や過少な積算が無いよう確認している。

富士宮市の未来づくりについて

問 市長の考える富士宮市の未来像とは。

市長 「次に来る旅人のために泉を清く保て」を座右の銘として、富士宮の未来づくりに取り組んでいる。この中の泉とは、世界遺産富士山のあるまち富士宮であり、富士山から自然、水、食、歴史そして文化など多くの恩恵を受けている。先人

の築き上げた郷土、その魅力を次の時代につなぎ、市民の皆様がそれぞれの幸せを享受できるようなまちづくりを考えている。

問 (仮称) 富士宮市立郷土史博物館を未来づくりにどのように活用するのか。

市長 富士宮市民憲章の一番初めには、「富士山を仰ぎ、文化を高め、豊かな教養を身につけましょう」と掲げられている。市民が文化を高め豊かな教養を身につけるためには、本市の歴史文化等を次世代に継承し、郷土愛の熟成及び文化的歴史的教養の向上を図る必要がある。(仮称) 富士宮市立郷土史博物館は未来の富士宮市を担う人材作りの拠点として活用する。



▲朝もやの中の富士山



のもと たかゆき
野本 貴之 議員
(芙蓉)

高齢者世代の情報格差解消に向けた提案

問 情報格差の対応と事業の取組を伺う。

部長 インターネット利用時の危険性も含め、高齢者のみならず、市民向けの出前講座等の取組について研究したい。

部長 高齢者のインターネット利用率は低い状況。身近な場所で身近な人から使い方や利用方法などを学べる環境を整えることは必要と認識。国が進めるデジタル活用支援員などの制度が活用できるようにになれば検討したい。

問 行政サービスのICT化が進むに当たり、ICTを利用できない方が相談を受けたり、教えてもらえるような窓口が早急に必要になってくると思うがどうか。

部長 非常にこれから重大な課題だと認識。デジタル化のほうへ移行できる支援を行政として考え

る必要がある点は大きな課題。

部長 総務部と企画部で連携を話している。市民に寄り添ったデジタル化が必要だと思う。

知と文化の拠点、図書館の利活用促進の提案

問 図書館のコロナ禍の課題を伺う。また文化活動の停滞を招かないために滞在時間の緩和を考える時期だと思うが、どうか。

部長 課題は感染防止と図書館の利用促進の両立である。当初は、県内の状況などを参考に、滞在時間30分を目安としたが、一律にせず短時間のお願いを9月中旬から開始した。

問 オンラインの取組を何か考えているか。

部長 オンラインについて今後取り組んでいきたい。また、企画部の情報化推進計画等があるので企画部と協力しながらやっていきたい。

部長 新たな魅力づくりとしてウェブ会議システムを考えるなど新しい施策を庁内協議したところ。今後そのような点を大事にしたい。

その他の質問

コロナ禍における幼保等の未就学児への対応とストレス緩和について



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

潤井川青見橋で撮影された人気ドラマ「半沢直樹」ロケ地のシティプロモーション活用を

問 人気ドラマ「半沢直樹」の第4話の1部シーンが市内の潤井川の青見橋にて撮影された。このロケ地をシティプロモーションに結びつけるなどの取組はいかがか。

部長 このたびのドラマの経緯は、テレビ局側から直接、富士フィルム富士宮工場に撮影の依頼があったとのこと。本市では、令和2年度のシティプロモーション推進事業とLINEを活用し本市の魅力発信する「びまもり美守クリエイション事業」や「ワーケーション推進事業」を推進している。ご提案の人気ドラマのロケ地のシティプロモーションへの活用は、大変有効な手段の一つであるものの、ドラマや映画のコンテンツは様々な制約もあ

ることから注意をしながら情報発信のツールとして活用し、多くの人に共感してもらえるような効果的なシティプロモーションに努めていきたい。

問 今回のロケ地だけでなく、今までに市内で撮影されたドラマや映画のシーンを集約させたものがあるとシティプロモーションに役立つのではないかと。遊びの感覚を仕事に用いることもシティプロモーションに必要な感覚であると思うがいかがか。

部長 今回の関係者の話では、富士山のあるまちの郊外の工場を探したいということで制作側が「ここが最高だ！」とのことで決定したとのこと。ロケ地に選ばれたことで富士宮市に住んでいて良かった、という思いを改めて子どもたちに伝えていきたいと思った。また、令和3年度、源頼朝に絡む大河ドラマの中で撮影地になるのではとのことから、当地の魅力が日本人の心を揺さぶる力を持ち合わせており、それを色々と工夫をして、今回のご提案を前向きに捉えて取り組んでいきたいと思う。

2月定例会の予定

2月9日(火)～3月17日(水)で開催予定

2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 開会	10	11 祝日	12 議案 審議	13
14	15 議運 総務	16 環境	17 産業	18	19	20
21	22 議案 審議	23 祝日	24 予算 審査	25 議運	26	27
28						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 代表 質問	4 代表 質問	5 予算 審査	6
7	8 予算 審査	9	10	11 一般 質問	12 一般 質問	13
14	15 一般 質問	16 一般 質問	17 閉会	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11日・12日・15日・16日
午後の一般質問は、
13:20から始まります。

※議運…議会運営委員会、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会、
予算審査…予算審査特別委員会
代表質問としては、議員個人としてではなく、会派の一員として会派を代表して行う質問。



11月定例会は12月9日まで開催予定です。インターネット中継等でご視聴ください。

◆定例会中以外にも、議会運営、総務文教、環境厚生、産業都市、議会だより編集の各委員会及び全員協議会等が随時開催されております。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL:0544-22-1191

議員の寄附行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を贈る寄附、地域への催し物へ寸志等を出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘する、または要求することも法律で禁止されています。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に
郵便→〒418-8601
富士宮市弓沢町 150 番地
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』でみよう！



本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。

右のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。



富士宮市議会

検索

9月議会では、市民皆様の生活に関わる、特に大きな2つの案件を決議しました。

表紙上半分は、「暴力団追放に関する決議」、下半分は、「新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議」の写真です。

議会では様々な案件を審議していますが、この2つの決議は全会一致で可決され、安全安心に暮らせるまち、富士宮を象徴するものとなりました。以下に、両決議の趣旨を掲載します。

暴力団追放に関する決議(抜粋)

私たちは、法と正義に貫かれた社会体制の下で、身体・生命・財産の安全と平穏な社会生活の実現を念願し、この願いを脅かす暴力団の追放を決意し、これまで暴力団追放等の決議を行うなど、警察等関係諸団体とともに積極的に暴力団追放活動を進めてきた。しかし、指定暴力団山口組の2次団体である良知2代目政竜会が市内に事務所を構え、活動を開始しており、地元住民をはじめ市民は、大きな不安と恐怖を感じている。このことは、健全な社会経済活動をも脅かすものである。よって、新たに「暴力団事務所の撤退と暴力団追放をめざす」という強い決意をもって、市民や関係諸団体とともに連携・協力し、明るく住みよい郷土の実現に向けて邁進することを決議する。

新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議(抜粋)

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染者、濃厚接触者や家族などに対する不当な差別、偏見、誹謗中傷やこれらを誘発する言動は絶対に行わない。
- 2 こまめな手洗い・手指消毒や3つの密を避けるなどの「新しい生活様式」を徹底し、感染拡大防止に努める。
- 3 医療・介護・福祉など、感染のリスクが高い現場で仕事に従事する方々やその家族に敬意を払い、感謝の気持ちを忘れない。
- 4 将来の富士宮市を担う全ての子どもたちが、いかなる状況においても最適な学習を受け、心に残る学校生活を送ることができるようにする。
- 5 新型コロナウイルス感染症に対して、正しい理解と思いやりの心を持ち、市民一丸となって乗り越える。

詳細は右QRコードから
ご参照ください。



編集後記

本号は新型コロナウイルス感染症対策、決算審査特別委員会の報告、補正予算の結果を市民の皆様に分かりやすく伝達できるよう努力しました。

また、2月定例会の予定を初めてカレンダー型で作成しました。今後も分かりやすく、見やすい議会だよりの作成を心掛けていきます。

議会だよりの編集委員会副委員長 細沢 覚

昨年9月号から始まった「市民の声」のコーナーは、コロナ禍で今は自粛という形になってしまい残念でなりません。

新型コロナウイルス感染症終息後、ふたたび皆様のお声を聴ける日がくることを楽しみにしております。

また、市民の皆様がコロナに負けず、ますます元気で過ごされるよう心からお祈り申し上げます。

議会だよりの編集委員会 近藤 千鶴